

遊びの大切さ ～事故防止にも気を配って～



- 好奇心「～してみたいなあ」←いろいろな事を目・手にする機会
- 意欲「もっと～してみたいなあ」←達成感・快の体験
- 疑問「なんだろう？」←安全を確認した上での見守りも大事
- 行動「やってみよう！」←体を動かしやすい環境



遊び＝学びです！

自分でやりきる体験・・・

「とってあげる」より、「とりやすくしてあげる」

大人も
一緒になって
遊びましょう♪

支援センターや
児童館など



赤ちゃんの視点・気持ちになって部屋などを見まわしてみましよう

那覇市の親子健康(母子)手帳

乳幼児と安全 ～乳幼児の事故防止12か条～

1960年以降、0歳を除いた小児の死因の第1位は不慮の事故となっています。子どもの目の高さで安全を確かめましょう。

■乳幼児の事故防止

1 **必ずチャイルドシートに座らせる**
チャイルドシートはしっかり固定することが大切。

2 **生後5か月を過ぎたら誤飲に注意**
直径39mmの円の中に入る物は床面から1m以上の高さに置く。

3 **のどにつまるような食品は食べさせない**
3歳までは、乾いた豆類（ピーナッツなど）は食べさせない。

4 **浴槽の水は必ず抜いておく**
浴槽の高さが50cm未満は危険。残り湯をしない。浴室は乳幼児が入れないようにする。

5 **熱源に気を配り、やけどに注意**
家庭内の熱源はすべて乳幼児の手の届かないところに置く。

6 **火の元の確認を厳重に**
室内に消火器や煙の探知機を設置する。

7 **ベランダ・窓際を確認**
転落防止のため、ベランダには踏み台になるものを置かない。窓際にベッドを設置しない。

8 **自動車内に乳幼児を放置しない**
熱中症などの危険防止のため、自動車内に乳幼児を放置しない。

9 **家のまわりをチェック**
乳幼児の歩行中の事故は自宅から100m以内が4割。

10 **自転車に乗せるときはヘルメットを**
乳幼児を自転車に乗せるときは最後に、降ろす時は最初に。

11 **薬品などの戸棚には鍵をかける**
誤って薬品を口にしないように、薬品が入っている戸棚は鍵をかける。

12 **階段には柵をとりつける**
転落防止のため階段には柵をとりつける。

親子健康手帳のP157に、事故防止の項目があります。お子さんの周囲の安全確認を実施しましょう。

熱中症の疑いがあるサインは？

乳幼児は、体温調節が難しいため熱中症になりやすいと言われています。小さなSOSを見逃さないようにしましょう。

顔の皮膚が赤くなる



おしっこが出なくなる

泣き声に元気がない

顔色が悪く、脈が弱い

意識がもうろうとしている

①こまめな水分補給

お出かけの時は、水筒やベビーマグを用意しましょう

②熱の放出

ベビーカー（ベビーシート）用の保冷剤やジェルの保冷剤をタオルで巻いたものを背中においてあげるなどして熱を逃がしてあげましょう